

森林防疫

FOREST PESTS

— 森の生物と被害 —



目次

論文

- 煙樹ヶ浜松林におけるマツ類枯死木の増加要因について
〔法眼利幸・山下由美子・米光裕・五味裕和・大森悠也・津村直希〕 3

論文

- 建造物とその周辺樹木上のマイマイガ卵塊におけるヒメマルカツオブシムシによる捕食率の違い
〔綿引大祐〕 11

学会報告

- 病虫害研究最近の動向 ―樹木医学会第25回大会報告―
〔鳥居正人〕 19

都道府県だより：佐賀県・山形県 24

林野庁だより：人事異動（令和3年4月1日） 29

森林防疫ジャーナル 29

協会だより：どなたでも投稿できます！ 31

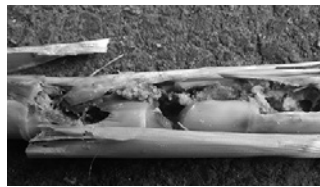
森林病虫害発生情報：令和3年3月・4月受理分 34



A



B



C

〔表紙写真〕 ハジマヨトウによるタケノコの食害

写真A：枯死したタケノコ

写真B：枯死したタケノコ内部に見られたハジマヨトウ幼虫

写真C：枯死したタケノコ内部の食害の様子

ハジマヨトウ *Bambusiphila vulgaris* (Butler 1886) (チョウ目, ヤガ科) は、マダケ、ハチク、モウソウチクなどの新梢(タケノコ)の害虫として知られる。森林総合研究所(茨城県つくば市)構内のトウチクやメダケなどの竹類が植栽されている樹木園において、2015年春にタケノコが枯死する被害が発生した。枯死したタケノコには直径5~6mm程度の孔があり、内部はハジマヨトウ幼虫による食害を受けていた。ハジマヨトウ成虫は夏に出現し、竹幹上の枝が出ている節部分の下側に卵塊を産下する。翌春孵化した幼虫は、はじめ枝に潜り込み、発育が進み大きくなるとタケノコに移動して上部から食入する。老熟幼虫はタケノコから脱出して、浅い土中で土粒を綴ってその中で蛹化する。(2015年6月撮影)

(国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 北島 博)